

# 経営継承計画シート

## 計画1 経営の方向性と継承の方向の確認

事業の方向性 (経営ビジョン) >>

経営者	年齢
-----	----

### 計画2 経営の現状確認

#### ●有形資産

農地	施設
----	----

家畜	その他
----	-----

農業機械
------

#### ●無形資産

経営理念

---

権限

---

技術

---

販売先

### 計画3 後継者の選定、育成

- 未定
- 後継者あり(子、親族等)  
年齢:      関係:
- 後継者あり(第三者)  
年齢:      関係:
- 後継者(候補)と継承について話合いを行っているか。  
行っている・行っていない
- 後継者が同意しているか  
同意している・同意していない

後継者の育成方針
----------

事業計画	項目	現在	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目
	売上高											
	所得											
	営業規模											
	イベントその他											

移譲者	現経営者	項目	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳
		立場										

後継者あり	継承者	後継者の選定、育成 ・不在(第三者等)	年齢	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳	歳		
			業務内容											
			有形資産継承 (賃借、使用賃借、売買)											
			無形資産継承											

関係者	周知理解状況											

### 計画4 事業及び経営継承に関する資金調達

目的

---

金額

---

資金調達先

---

借入者

---

返済方法

### 計画5 税務対策について

### 計画6 関係者への周知

親族

---

地域

---

取引先

---

金融機関

---

その他

# 経営継承計画シート 記入例

経営者 **熊本 太郎** 年齢 **60**

## 計画2 経営の現状確認

### ●有形資産

農地  
畑 0.5ha  
田 1.0ha

施設  
ハウス 5,000㎡  
農業倉庫 500㎡

家畜

その他

農業機械  
車両 2台  
運搬車 1台  
畝立機 1台

トラクター 1台  
管理機 1台  
フォークリフト 1台

### ●無形資産

経営理念 自然に感謝し、地域に貢献できる農業を行う。

権限 経営権、代表権、資産名義

技術 高品質栽培に向けた養水分管理

販売先 直売所、契約、JA

## 計画3 後継者の選定、育成

- 未定
- 後継者あり(子、親族等)  
年齢: **30** 関係: **息子(熊本 耕太)**
- 後継者あり(第三者)  
年齢: 関係:
- 後継者(候補)と継承について話合いを行っているか。  
 行っている・ 行っていない
- 後継者が同意しているか  
 同意している・ 同意していない

後継者の育成方針  
後継者候補の息子は就農しており継承に関する話合いを行っている。技術については理解が深まっているため今後は経営についても任せていきたい。

## 計画1 経営の方向性と継承の方向の確認

事業の方向性(経営ビジョン) >> 5年後の法人化、8年後の経営移譲を目標とする。あわせて規模拡大を目指す。

事業計画	項目	現在	1年目	2年目	3年目	4年目	5年目	6年目	7年目	8年目	9年目	10年目		
	売上高	2,000万円	→					3,000万円	→					6,000万円
	所得	700万円	→					1,100万円	→					1,500万円
	営業規模	トマト0.5ha メロン0.5ha 水稲1ha						トマト0.7ha メロン0.7ha 水稲1ha						トマト1.5ha メロン1.5ha 水稲1ha
	イベントその他	家族会議						法人化						太郎夫婦繁忙期の手伝いのみへ

移譲者	現経営者	項目	60歳	61歳	62歳	63歳	64歳	65歳	66歳	67歳	68歳	69歳	70歳
		立場	技術指導	→					契約事項等引継ぎ	→			
							税務指導	→					
							販売名義、確定申告名義変更 年金受給開始	→					
										法人代表交代			

後継者あり 継承者	年齢	30歳	31歳	32歳	33歳	34歳	35歳	36歳	37歳	38歳	39歳	40歳												
													業務内容	作業全般			生産計画を耕太が主体となり作成する	確定申告書を耕太が主体となり作成する	法人化	代表取締役社長:太郎 副社長:耕太	代表取締役社長:耕太 取締役:太郎			
													有形資産継承 (賃借、使用賃借、売買)						法人へ農地の賃借、機械・施設の使用賃借		法人へ農業機械の売買	法人へ施設の売買		
無形資産継承		生産部会、地域の会合、契約先打合せへ同席開始	生産計画作成方法指導		契約先打合せの主体を耕太へ変更	金融機関等へ経営移譲の相談	部会、契約先、金融機関等へ法人化挨拶同席		部会、契約先、金融機関等へ経営移譲挨拶															

関係者	周知理解状況	父	母	次男	長女	
		家族会議を行い、耕太を後継者として教育していくことを伝える。				
		財産分与について話し合いを行う。				

## 計画4 事業及び経営継承に関する資金調達

目的 **ハウス増設**

金額 **2,000万円**

資金調達先 **日本政策金融公庫**

借入者 **新法人**

返済方法 **10年**

## 計画5 税務対策について

相続税納税猶予制度

相続時精算課税制度

農地等の生前一括贈与を受ける場合の贈与税の納税猶予制度

消費税免除(生前継承後2年間)

## 計画6 関係者への周知

親族 家族会議を行い耕太を農業の後継者として教育することを両親、子ども達へ伝える。

地域 地域の会合に耕太も出席し、地域との関係を強化する。

取引先 打合せに同席し、関係を構築する。4年目を目途に耕太が主体となる。

金融機関 耕太が後継者であることを早めに伝え、融資等受けることができるようにする。

その他 機械の売買は簿価1円になってから行う。